総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要（平成25年度）

2. 分野等別状況　（2）地域活性化総合特区　①グリーン・イノベーション分野（　5/11）

	評価区分（*1）	総合評価（Ⅰと Ⅱの平均値にⅢを加味）	Ⅰ目標に向けた取組の進捗に関する評価	Ⅱ支援措置の活用と地域独自の取組の状況	Ⅲ現地調査時の指摘事項及び対応状況等（*2）	総合評価に係る専門家所見（主なもの）
柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区（柏市）	正	B 3.9	B 3.6 進捗度 ・地域活動の参加者の増加 120% ・駅前148街区複合開発（業務施設，商業施設，賃貸住宅，ホテル，ホール）におけるCO2排出原単位の削減（※） ・駅周辺5街区（住宅部門 約2,500戸対象）におけるCO2排出量の削減（※） ・特例措置による訪問リハビリステーション事業所による訪問リハビリ実施件数 136% 等 （※）は定性的評価	B 3.6 規制の特例等 ・訪問リハビリテーション事業所整備推進事業　等 財政支援等 ・低炭素コンパクトシティと災害時スマートエネルギーシステムの構築 地域独自の取組 ・柏市指定居宅サービス等事業人員設備運営基準等条例改正　等	＋0.25	・都市経営、地域エネルギー、地域の健康・介護の3軸について多岐にわたる優れた取組みとなっているが、エネルギー系の事業（※1）については現時点で適正に進捗を評価することは難しい。 ・推進主体となる地元組織の充実（※2）、関係団体との継続的な協議がしっかりと実を結んでいる。 ・しかし、市民参加・エネルギー・起業・ライフ各分野の事業が別々に進行しているという印象もある。 ※1：本特区では、低炭素コンパクトシティと災害時スマートエネルギーシステムの構築を図るとして、駅前148街区複合開発において先進的なエネルギーマネジメント機能を有する施設整備等が、平成26年度の完成を目指して行われている。 ※2：平成25年度に、一般社団法人柏の葉アーバンデザインセンターが都市再生法に基づく都市再生整備推進法人に指定された。

◆評価書はこちら　　◆評価結果はこちら

*1）「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。　*2）「Ⅲについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。